

越前市工業用水道事業の紹介

○事業の主旨

越前市（旧武生市）では、雇用機会の増大と所得の向上を図るため、武生市開発公社を事業主体として昭和45年2月より工業団地の造成に着手。昭和47年6月に完成し、王子保工業団地として企業誘致を始めた。

当初は需要者が1社であったため、自家用工業用水道として取扱い、施設貸付料の契約をして、給水を開始した。

その後、工業再配置促進法による工業の誘導地域として内陸工業団地の指定を受けて池ノ上工業団地を造成、立地条件整備のためには工業用水道は必要なものであり、早急に工業用水道の設置が必要となり創設された。

○事業の経緯

昭和48年8月、武生松下電器(株)のみの給水である等の理由から、武生市開発公社所有の取配水施設を同社に貸付け、自家用工業用水道事業として取り扱った。

昭和50年1月、北陸コカ・コーラボトリング(株)武生工場の誘致が決定し、昭和50年5月より給水した。

その後、昭和53年10月に池ノ上工業団地（王子保工業団地の北西約2km）を給水区域に加え、正式に武生市工業用水道事業を発足させることとなった。

さらには昭和59年4月に池ノ上第2工業団地、大虫工業団地（王子保工業団地の北北西約5km）及び大虫工業団地に隣接する(株)福井村田製作所に給水するために区域を拡張し、現在に至る。

○施設の概要

越前市工業用水道では、越前市下平吹町の日野川左岸4点の取水井から、地下水をポンプで汲み上げ、直送にて各工場へ配水している。

送配水管口径Φ300～Φ50mm、延長は約9.3km、取配水能力は10,000m³/日となっている。

○工業用水道給水区域図

別図参照。

○需要者の概要

（平成19年1月末）

業種	給水件数	契約水量 (m ³ /日)
食品	1	250
繊維	1	500
化学	3	400
電気機械	2	3,700
輸送機械	1	600
その他製造	2	550
合計	10	6,000

○事業の特徴

- ・水源は日野川水系の地下水のため、他の水系に比べ取水能力が安定している。
- ・給水能力は、10,000m³/日であるが、近年、水資源の回収再利用化により契約水量が減少したため、4,000m³/日程度の余裕がある。
- ・施設の老朽化が進んでおり、施設更新時期をむかえている。

○越前市での企業立地

越前市（特に王子保工業団地付近）は、北陸地方の陸の玄関口で、製品輸送ルートの拠点などに最高のロケーションである。

また、平成18年より施行された企業立地促進制度により、用地取得費等に最大6億円の補助金の交付を受けることができる。

なお、工業用水道はもちろんのこと、上水道についても安い価格で提供されているため、低コストでの企業立地が可能な地域となっている。

○越前市ホームページアドレス

[http:// www.city.echizen.lg.jp/](http://www.city.echizen.lg.jp/)

越前市工業用水道事業給水区域図

